

## 7

### 工 作 物

- \* 工作物の高さの最高限度の基準を 15m とする。
- \* よう壁は材料、壁面処理の工夫、前面の緑化等により、周囲との調和を図る。
- \* 自動販売機は設置しない。やむを得ず設置する場合は、周囲の景観を乱さぬよう、高彩度色を避け光量を抑えるか、木製格子等で覆う。
- \* 駐車場、自転車置き場等は、道路等から直接見えにくいように周辺を緑化するか、木製の柵等による修景を図る。



## 8

### そ の 他

- \* 湯畑広場の音の風景（サウンドスケープ）に配慮し、温泉情緒を損なうおそれのある音量等は避ける。
- \* ごみの処理やごみ箱の設置に当たっては、周辺景観を阻害しないよう十分に配慮する。
- \* その他、「景観まちづくりの理念」にそぐわない行為（強引な客引き、不快な臭いを出すこと等）は慎む。

## 湯畑地区の協定区域



湯畑地区景観まちづくり協定は、湯畑広場を取り囲む敷地を中心とした、左図点線内の区域を対象とする。

平成23年4月28日 締結  
(平成24年9月 草津町発行)

## 湯畑地区

## 景観まちづくり協定



### 温泉情緒溢れる「和」のまちなみ

先人たちの英知と努力によって引き継がれてきた草津特有の温泉文化と、これを支えてきた温泉街のまちなみの個性を尊重・継承し、「和」のデザインを基本とした草津特有の温泉情緒と風格を兼ね備えた景観を守り育てる。

### 自然を感じるまちなみ

草津白根の山々に抱かれ豊かな自然に恵まれた草津町にとって、市街地のまちなみの背景となる山の端や山の緑、市街地に点在する樹木や草花などは、極めて重要な景観的資産である。これらの緑を守り増やしてゆくとともに、これらの自然の存在が引き立つまちなみをつくる。

### 景観資産を引き立てるまちなみ

湯畑、光泉寺をはじめ、源泉の湧出場や共同湯・足湯などの歴史的・文化的資産を引き立つようなまちなみをつくる。このために、景観資産を取り囲む個々の建物や空間が一定の統一感と調和を保ち、集合体として地域の個性を表現できるまちなみをつくる。

### 素材感と落ち着きのある色調

木造建築、木製看板、自然の素材を使った外壁にするなど、素材感を大切にする。また、周囲の自然の存在感を際立たせ、かつ、温泉情緒を感じることのできる落ち着きのある穏やかな色調を用いる。

## 景観まちづくりの理念

# 景観まちづくりのルール

## 1

### 規模・構造・壁面の位置

- \*建築物の高さは15m以下に抑え、背景の草津白根の山並みや近隣の緑がまちなみの一部として引き立つよう配慮する。
- \*建築物の階数は1階、2階又は3階とする。やむを得ず4階とする場合は、4階の壁面を後退させ、湯畑広場や通りから見えにくいようにする。
- \*建築物の壁面の位置は、隣接する家屋の壁面に揃え、街なみの連続感や広場としての景観形成に配慮する。
- \*貴重な温泉源である湯脈を守るため、土地に対する負荷の少ない構造や施工方法に十分配慮する。
- \*建築物の構造は、和の趣のある木造とすることが望ましい。

## 2

### 外壁・意匠

- \*温泉街として発展してきた歴史を尊重し、和（風）のデザインとする。
- \*木製の手すりや格子、瓦葺きの庇などによる趣きのある表構えを備える。
- \*草津の伝統的な外壁である真壁又は真壁風が望ましい。
- \*草津の伝統的な建築様式である「せがい出し梁造り」か、1階壁面を後退させた「出し梁造り」の外観を備えることが望ましい。



### ②材質・色彩

- \*外壁は、塗り壁や板張りなどの自然系の素材を使用し、人工的なイメージの強い外装材は使用しない。
- \*外壁のメインカラーは、木、漆喰、日本瓦、土塗壁等の自然素材に使用されているYR（黄赤）、Y（黄）、N（無彩）系の色相で、低彩度（3以下）の落ち着いた色を基本とする。なお、木材や地場の石材、土壁などの自然素材は、この限りでない。

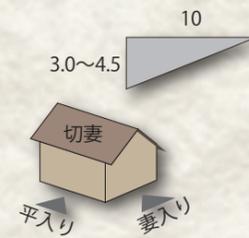
自然の素材を使った外壁材の例				外壁の色例	
					N9
					10YR 9/1
					2.5Y 7.5/3
					10YR 7/3
					10YR 3/2
					2.5Y 3/2

## 3

### 屋根

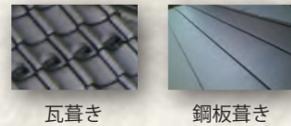
#### ①形状

- \*3.0～4.5寸程度の緩やかな勾配屋根を基本とし、和の風情と調和した家並みの形成を図る。
- \*湯畑東側の家々は、伝統的な切妻・妻入りの屋根並み（ルーフスケープ）を継承することが望ましい。



#### ②材質

- \*日本瓦、銅板、又はその他の材料で、湯畑地区の和の風情と調和したものを使用する。



#### ③色彩

- \*草津温泉を取り囲む緑と融和した落ち着いた色のある屋根並みを形成するため、黒色、濃灰色、灰色、又は茶色系で、低彩度かつ重厚感のある低明度とする。

屋根の色例

	N5
	N3
	N2
	2.5Y 3/2
	10YR 3/2
	5Y 2/1

## 4

### 建築設備等

- \*空調設備、ガスボンベ、オイルタンク、メーター、配管など、壁面又は壁面付近に設置する設備は、格子の囲いや植栽の設置などにより、通りや広場から見えにくいように設置する。
- \*屋上設備は設置しない。やむを得ず設置する場合は、設置場所、色彩、木製囲い等による目隠し等について工夫し、周囲の景観に十分配慮する。
- \*日除けテントやオーニングの設置は極力避けるようにする。やむを得ず設置する場合は、原色や高彩度色のものは避け、和の景観に調和するデザイン・色彩とする。
- \*店舗等の1階正面は、ショーウィンドウ又は透視可能なパイプシャッター等を使用し、休日や夜間の賑わいの演出を図る。



## 5

### 植栽

- \*植木や植栽帯、花壇、植木鉢など、積極的に新たな植栽を施し、花や緑による修景を図るよう努める。
- \*植栽は、年間を通して十分な手入れを施し、適切に管理する。
- \*植物の種類やプランターなどに和の雰囲気のものを使用するなど、温泉情緒のある景観づくりに配慮する。

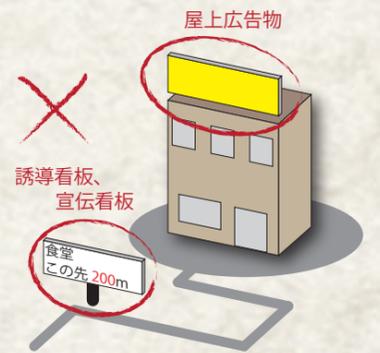


## 6

### 屋外広告物

#### ①数・大きさ

- \*屋上広告物は掲出しない。
- \*自己の事業所がない場所には、広告物を掲出しない。ただし、道案内でやむを得ない場合を除く。
- \*広告物の掲出に当たっては、周囲の景観に十分配慮し、過度な大きさ・掲出数は避ける。
- \*突出広告物（袖看板）は、外壁から1m以内とする。
- \*広告物の設置数は一立面3基まで、広告物の大きさ（合計表示面積）は一立面3㎡以内とすることが望ましい。（のぼり旗、置き看板等を含む。はり紙、はり札は除く。）



山本館の屋外広告物の現況

2立面（角地）



【広告物の数】7  
【材質】木製

【合計表示面積】約5.9㎡  
【文字色】1色

#### ②意匠・色彩

- \*和の景観に調和するデザインとする。
- \*原色や高彩度色のものは避け、和の景観に配慮した色彩とする。（企業のテーマカラーについても、原色のもの等周辺景観に不調和なものは、原則として設置しない。）
- \*動光・点滅を伴うものは設置しない。
- \*照明による店先空間の演出を心がけ、夜の温泉情緒あふれる雰囲気づくりに努める。（照明には蛍光灯など白色系のものを避け、暖色系の色を用いる。）
- \*自然素材の温もりや和の風情との調和が感じられる木製の広告物を使用することが望ましい。

#### ③設置・管理

- \*広告物の倒壊・落下等を防ぐため、広告物の設置位置、設置方法等に十分配慮するとともに、設置後は補修その他必要な管理を怠らないようにする。